

Pioneer *sound.vision.soul*

CD/チューナープレーヤー

DEH-010

取扱説明書

目次 4ページ

carrozzeria

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

安全上のご注意 (別冊の「安全上のご注意」もお読みください。)

警告

[使用方法]

運転中に操作をしない



禁止

画面を長く見る必要がある複雑な機能は、自動車の運転中に操作をしないでください。前方不注意となり交通事故の原因となります。操作は、必ず安全な場所に車を停車させて行ってください。また運転中、画面を注視する時間は必要最低限としてください。

[異常時の処置]

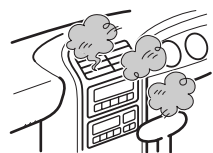
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

安全のために必ずお守りください ... 2
絵表示について
安全上のご注意

■はじめに

各部のなまえ 5
本機

■本機の基本操作

本機の基本操作 6
電源ON/ソース選択/音量調節/電源OFF

■内蔵CDでCDを聞く

内蔵CDの基本操作 8
CDセット/選曲/早送り/早戻し/CDイジェクト

同じ曲を繰り返し聞く 9
リピート再生

いつもと違う曲順で聞く 10
ランダム再生

CD再生を一時停止する 10
ポーズ

■ラジオを聞く

ラジオの基本操作 11
バンド選択/放送局選択

複数の放送局を自動的に
記憶させる 12
BSM

放送局を1局ずつ記憶させる 13
プリセットメモリー

記憶させた放送局を呼び出す 14
プリセットチューニング

■音を調節する

BTBを設定する 15
バス/トレブルブースター

オーディオ調節モードを
切り換える 16
オーディオ調節モード

前後左右の音量バランスを
調節する 16
フェーダー/バランス

低音と高音を調節する 17
バス/トレブル

小音量時の音に
メリハリをつける 18
ラウドネス

各ソースの音量の違いをそろえる .. 19
SLA

■その他の機能と付録

交通情報を受信する 20
トラフィックインフォメーション

時計を合わせる 21
時計調節モード

時計を表示させる 21
時計表示

CDの正しい使いかた 22

故障かな?と思ったら 24

こんなメッセージが
表示されたら 26

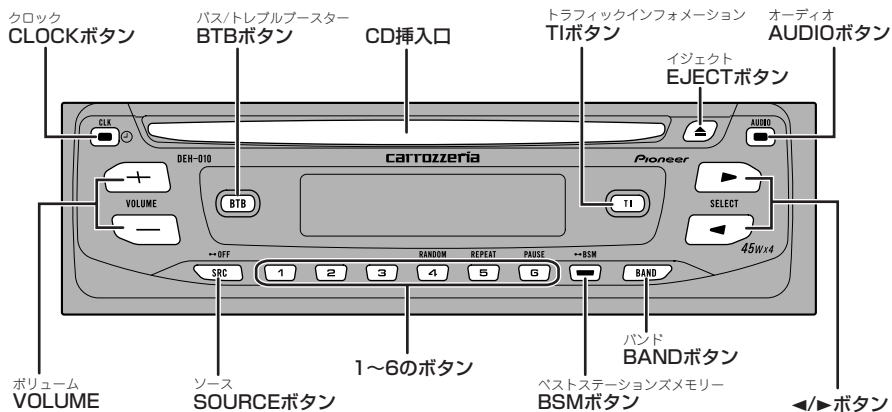
保証書とアフターサービス 27

おもな仕様 28

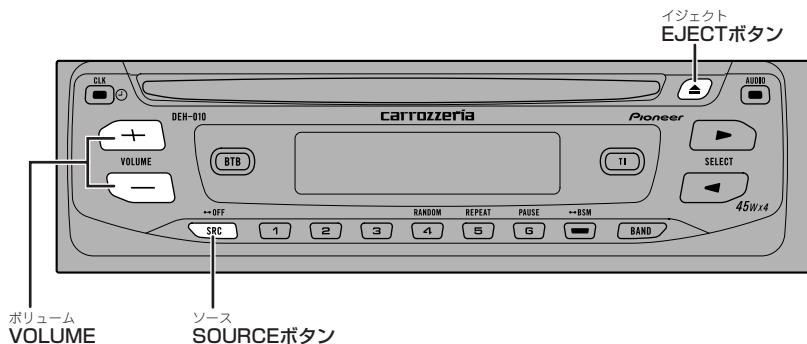
各部のなまえ

本機

■ 本機



本機の基本操作



本機の基本操作

電源ON/ソース選択/音量調節/電源OFF

ここだけの操作で、本機を使用できます。

1 SOURCEボタンを押して、電源を入れる

本機の電源がONになります。



- ・ CDをCD挿入口に差し込んだときも、電源がONになります。(「内蔵CDの基本操作」8ページ)

2 SOURCEボタンを押して、ソース(音源)を切り換える

SOURCEボタンを押すごとに、次のようにソースが切り換わります。

内蔵CD → ラジオ (FM/AM) → 内蔵CDに戻る



- ・ CDがセットされていないと、SOURCEボタンを押しても内蔵CDには切り換わりません。
- ・ 本機の青リード線 (オートアンテナ) に車側のオートアンテナのコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナが伸びます。

3

VOLUMEを押して、音量を調節する

- (+)を押す：音量を上げるとき
- (-)を押す：音量を下げるとき



0～30の範囲で調節できます。
約4秒後に、もとの表示に戻ります。

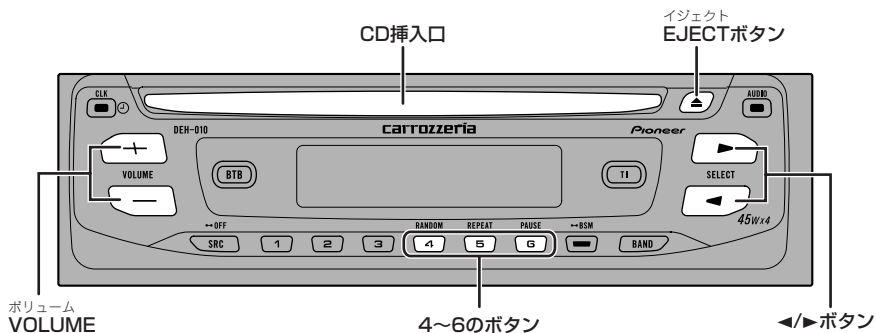
4

SOURCEボタンを1秒以上押して、電源を切る

本機の電源がOFFになります。

- ・CDをセットしたまま電源をOFFにすることもできます。
- ・電源がOFFの状態でも、EJECTボタンを押してCDを取り出すことができます。（「内蔵CDの基本操作」8ページ）
- ・時計を表示させている場合、電源をOFFにしても時計は表示されます。（「時計を表示させる」21ページ）

内蔵CDでCDを聞く



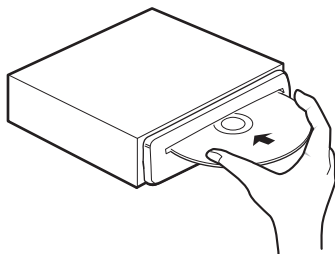
内蔵CDの基本操作

CDセット/選曲/早送り/早戻し/CDイジェクト

ここだけの操作で、CDを聞くことができます。

1 タイトル面を上にして、CDをCD挿入口に差し込む

CDの再生が始まります。



再生経過時間

ご注意

- ・ CDシングル (8cm CD) もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。

- ・ CDをセットしたままラジオに切り換えたり、電源をOFFにしたりすることができます。(「本機の基本操作」6ページ)
- ・ CD挿入口には、CD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。

2 ◀または▶ ボタンを押して、聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻しをする)

- ▶：次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀：前の曲を選ぶとき (または早戻し)



選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

3 VOLUMEを押して、音量を調節する

- (+)を押す：音量を上げるとき
- (-)を押す：音量を下げるとき

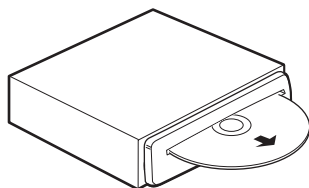


0~30の範囲で調節できます。
約4秒後に、もとの表示に戻ります。

4 EJECTボタンを押して、CDを取り出し、CD再生をやめる

CDが出てきます。

出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。



- ・ EJECTボタンを押してCD再生をやめた場合は、自動的に電源OFFになります。

同じ曲を繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

1 5のボタンを押して、リピート再生をONにする

- 今聞いている曲を繰り返し再生します。
- もう一度押すとOFFになります。



リピート再生中表示されます。

いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生できます。

- 1 4のボタンを押して、ランダム再生をONにする

次の曲からランダムに再生します。

もう一度押すとOFFになります。



ランダム再生中に表示されます。

CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止 (ポーズ) することができます。

- 1 6のボタンを押して、CD再生を一時停止する

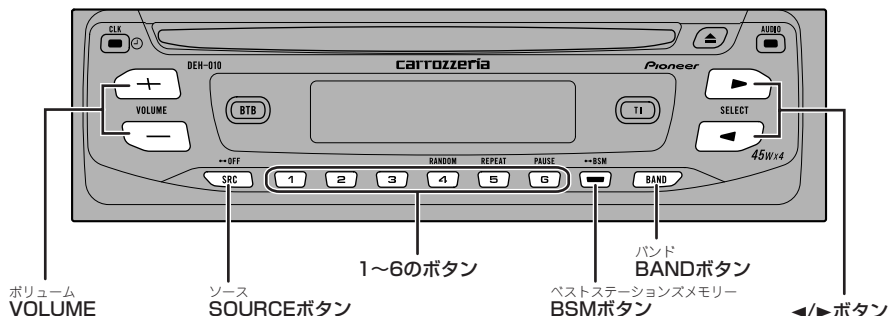
CD再生を一時停止します。

もう一度押すと再生が始まります。



一時停止中に表示されます。

ラジオを聞く



ラジオの基本操作

バンド選択/放送局選択

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。

1 SOURCEボタンを押して、ソースをラジオにする

ラジオを受信します。



ステレオ放送を受信すると表示されます。

2 BANDボタンを押して、バンドを選ぶ

ボタンを押すごとに、図のようにバンドが切り換わります。



F1 → F2 → A1 → A2

- ・バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。（「複数の放送局を自動的に記憶させる」12ページ・「放送局を1局ずつ記憶させる」13ページ）
- ・バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるのか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのままお使いになれます。（「複数の放送局を自動的に記憶させる」12ページ・「記憶させた放送局を呼び出す」14ページ）

ラジオを聞く

3 ◀または▶ ボタンを押して、放送局を選局する

- ▶：高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀：低い周波数の放送局を選局するとき

選局方法の使い分け

手動選局 (1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上



受信周波数

- ・0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離したところから自動選局を開始します。
- ・自動選局を使うと、電波の弱い放送局は選局されないことがあります。その場合は手動選局で受信してください。

4 VOLUMEを押して、音量を調節する

- (+)を押す：音量を上げるとき
- (-)を押す：音量を下げるとき



0~30の範囲で調節できます。
約4秒後に、もとの表示に戻ります。

5 内蔵CDに切り換えるか、電源をOFFにして、ラジオの受信をやめる

(「本機の基本操作」6ページ)

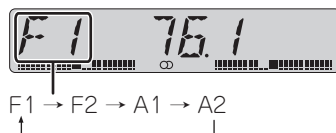
複数の放送局を自動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動的に1~6のボタンに記憶させることができます。

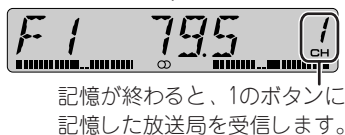
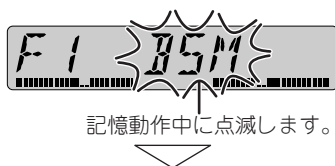
1 BANDボタンを押して、記憶させるバンドを選ぶ

ボタンを押すごとに、図のようにバンドが切り換わります。



2 BSMボタンを2秒以上押して、BSMを始める

記憶動作中にもう一度押すと、BSMを途中解除します。



- ・受信状態の良い放送局が6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。
- ・BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー) の略です。
- ・記憶させた放送局を呼び出すには(「記憶させた放送局を呼び出す」14ページ)

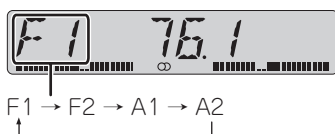
放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1~6のボタンに、お好みの放送局を1局ずつ手で記憶させることができます。

1 BANDボタンを押して、記憶させるバンドを選ぶ

ボタンを押すごとに、図のようにバンドが切り換わります。

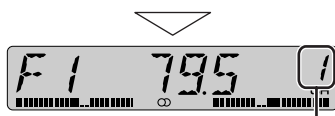
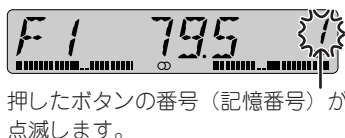


2 ◀または▶ボタンを押して、記憶させたい放送局を選局する

- ▶: 高い周波数の放送局を選局するとき
- ◀: 低い周波数の放送局を選局するとき



3 1~6のボタンの1つを2秒以上押して、記憶させる



- ・記憶させた放送局を呼び出すには(「記憶させた放送局を呼び出す」14ページ)

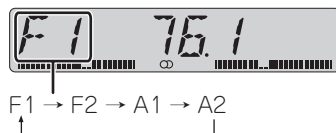
記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

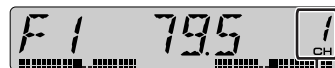
記憶させた放送局は簡単に呼び出すことができます。

1 BANDボタンを押して、記憶させたバンドを選ぶ

ボタンを押すごとに、図のようにバンドが切り換わります。

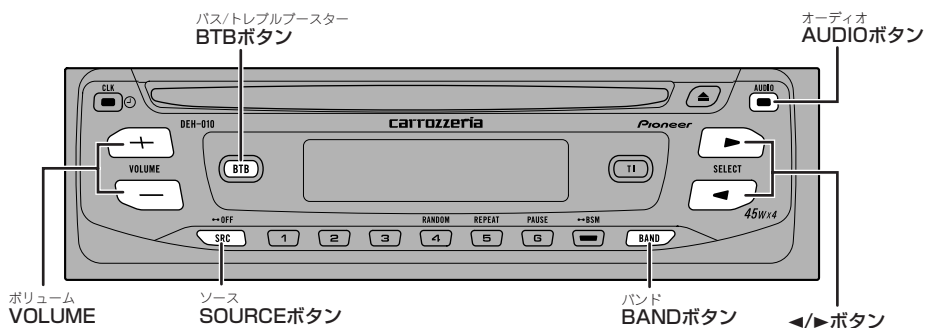


2 1～6のボタンの1つを押して、記憶させた放送局を呼び出す



受信中の記憶番号

音を調節する



BTBを設定する

バス/トレブルブースター

低音（バス）と高音（トレブル）のレベルを、あらかじめ用意されたBTBの設定の中から選ぶことができます。

1 BTBボタンを押して、BTBの設定を切り換える

BTBボタンを押すごとに、次のようにBTBの設定が切り換わります。



POWER → MAX → CUSTOM → FLAT → DYNAMIC → POWERに戻る

- ・ BTBとはBass Treble Booster（バス/トレブルブースター）の略です。
- ・ CUSTOMには、お好みに合わせて調節した低音（バス）と高音（トレブル）が記憶されます。（「低音と高音を調節する」17ページ）

オーディオ調節モードを切り換える

オーディオ調節モード

オーディオ調節モードを切り換えて、音を調節できます。

1 AUDIOボタンを押して、オーディオ調節モードを切り換える

ボタンを押すごとに、次のようにオーディオ調節モードが切り換わります。

音量バランス調節モード (16ページ) → 低音レベル調節モード (17ページ) → 高音レベル調節モード (17ページ) → ラウドネスモード (18ページ) → SLAモード (19ページ) → 音量バランス調節モードに戻る



2 BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ソースがFMの場合、SLAモードには切り換わりません。（「各ソースの音量の違いをそろえる」19ページ）
- ・約30秒間何も操作しないと、オーディオ調節モードは自動的に解除されます。

前後左右の音量バランスを調節する

フェーダーバランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節できます。

1 AUDIOボタンを押して、音量バランス調節モードにする



2 VOLUMEを押して、前後の音量バランスを調節する

- (+)：前を強めるとき
- (-)：後ろを強めるとき



前後のバランスはF15～R15の範囲で調節できます。

3 ◀または▶ボタンを押して、左右の音量バランスを調節する

- ▶：右を強めるとき
- ◀：左を強めるとき



左右のバランスはL9～R9の範囲で調節できます。

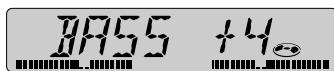
4 BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

低音と高音を調節する

バス/トレブル

低音・高音のレベルを調節できます。

- 1** AUDIOボタンを押して、低音調節モードを選ぶ



- 2** VOLUMEを押して、レベルを調節する

(+)：レベルを大きくするとき

(-)：レベルを小さくするとき



レベルは-6～+6の範囲で調節できます。

- 3** AUDIOボタンを押して、高音調節モードを選ぶ



- 4** VOLUMEを押して、レベルを調節する

(+)：レベルを大きくするとき

(-)：レベルを小さくするとき



レベルは-6～+6の範囲で調節できます。

- 5** BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

・調節した低音と高音のレベルは、BTB（15ページ）のCUSTOMに記憶されます。

小音量時の音にメリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 AUDIOボタンを押して、ラウドネスモードにする

2 VOLUME (+) を押して、ラウドネスをONにする

VOLUME (-) を押すと、OFFになります。



ラウドネスがONのときに表示されます。

3 ◀または▶ボタンを押して、ラウドネスの効果を選ぶ

▶：効果を大きくするとき(HI)

◀：効果を小さくするとき(LOW)



LOW (弱) またはHI (強) を選ぶことができます。

4 BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

各ソースの音量の違いをそろえる

SLA

ソース (音源) を切り換えたときの音量に違いがでないように、FMの音量を基準にして、各ソースの音量の違いをそろえることができます。

- 1** SOURCEボタンを押して、FM放送を受信し、FMの音量を確かめる



- 2** SOURCEボタンを押して、調節したいソースに切り換える



- 3** AUDIOボタンを押して、SLAモードにする



- 4** VOLUMEを押して、レベルを調節する

(+) : レベルを上げるとき

(-) : レベルを下げるとき

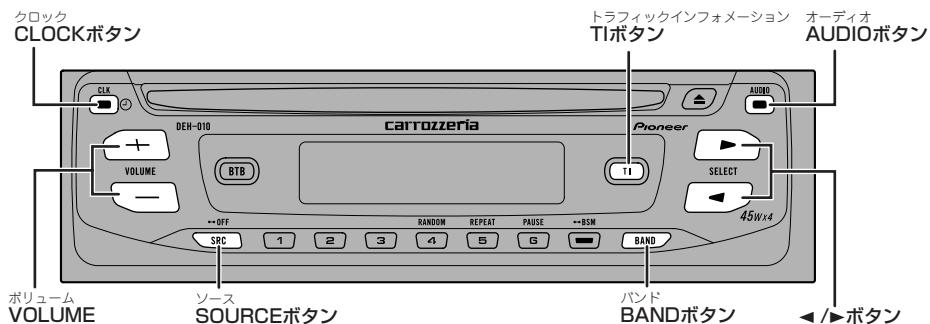


-4~+4の範囲で調節できます。

- 5** BANDボタンを押して、オーディオ調節モードを解除する

- ・ SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター) の略です。
- ・ FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときはSLAモードに切り換えることはできません。
- ・ AM、CDのそれぞれの音量差を調節することができます。なお、AMと交通情報は同じ設定になります。(「交通情報を受信する」20ページ)

その他の機能と付録



交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

AM1,620kHzまたは1,629kHzの交通情報を、簡単に受信できます。

1 TIボタンを押して、交通情報を受信する

AM1,620kHzの交通情報を受信します。



- ・この機能はどのソースを聞いているときでも、操作できます。
- ・この機能は電源がOFFのときでも、操作できます。

2 ◀または▶ボタンを押して、放送に合った周波数に切り換える

- ▶ : 1,629kHzにするとき
- ◀ : 1,620kHzにするとき



3 TIボタンを押して、交通情報の受信をやめる

交通情報を受信する前の状態に戻ります。

- ・交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として自動的に記憶され、次回も同じ音量設定で交通情報を聞くことができます。
- ・交通情報を受信すると、BTBの設定は自動的に交通情報用CUSTOMIに切り換わります。交通情報の受信をやめるとBTBの設定は、もとの状態に戻ります。
- ・交通情報受信中に、低音（バス）または高音（トレブル）を調節すると、調節内容は交通情報用CUSTOMIに記憶されます。

時計を合わせる

時計調節モード

時計を合わせることができます。

1 SOURCEボタンを1秒以上押して、電源をOFFにする

2 電源がOFFのときに、AUDIOボタンを2秒以上押して、時計調節モードにする

3 ◀または▶ボタンを押して、時または分を選ぶ



押すごとに時と分が切り換わります。

4 VOLUMEを押して、時刻を合わせる

(+)：時刻を進めるとき

(-)：時刻を戻すとき

分を修正すると、0秒からカウントが始まります。



5 BANDボタンを押して、時計調節モードを解除する

・ 時計調節モードを解除すると、電源がOFFになります。

時計を表示させる

時計表示

本機の電源のON/OFFにかかわらず、時計を表示させることができます。

1 CLOCKボタンを押して、時計を表示する

もう一度押すと時計表示を解除します。



時計表示

・ 本機の電源がONの場合、時計表示のときに他の操作をすると時計表示は一時的に解除されますが、約25秒後に時計表示に戻ります。

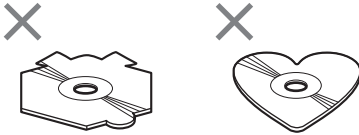
CDの正しい使いかた

■使用できるCDについて

- 下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



- 本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証及び性能保証は致しかねます。
- ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。

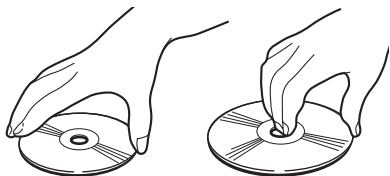


- 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。（詳細は、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。）
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/CD-RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- 本機はCD-R/CD-RWディスクのトラックスキップ機能に対応しています。スキップ指定された曲を飛ばして再生します。

- ファイナライズされていないCD-R/CD-RWディスクには対応していません。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

■取り扱い上のご注意

- CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。

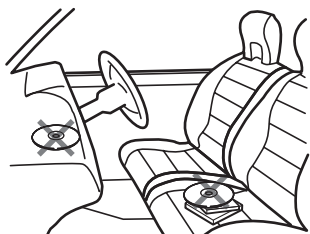


- CDにキズを付けないでください。
- CDにシールなどを貼り付けないでください。



■保管上のご注意

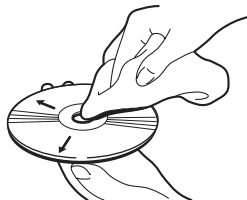
- 直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



- CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

■お手入れについて

- CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



■CD再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。
このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

ご注意

- ・製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

故障かな?と思ったら

故障かな? と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。

チェックしても直らないときは

「保証書とアフターサービス」(27ページ)をお読みになり、修理を依頼してください。

■共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (「取付説明書」参照)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換してください。 (「取付説明書」参照)
音が出ない。	音量を下げている。	音量を調節してください。 (7、9ページ)
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (16ページ)
	接続が間違っている。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。 (「取付説明書」参照)
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (16ページ)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (16ページ)

■ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。 放送局の電波が弱い。	周波数を正しく合わせてください。(12ページ) 他の放送局を選局してみてください。(12ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。(12ページ)

■CD

症状	原因	処置
CD再生中、大きな雑音が出る。	CDに大きなキズやソリがある。	他のCDと交換してください。良くなればCDの不良です。
CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDが極端に汚れている。 CDに曇りや水滴がついている。	CDの汚れをふき取ってください。(23ページ) CDの曇りや水滴をふき取ってください。(23ページ)
CDの再生ができない。 CDを取り出せない。	本機がディスクを認識していない。	EJECTボタンを押すと、CDを取り出すことができます。もう一度入れ直してください。

こんなメッセージが表示されたら

CDを正常に再生できないときは、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ(エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処置
「HEAT」	本機の内部温度が高いとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。
「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-17」 「ERROR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。(23ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「ERROR-10」 「ERROR-11」 「ERROR-12」 「ERROR-17」 「ERROR-30」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「ERROR-44」	すべての曲がトラックスキップ指定されているとき。	CDを交換してください。

保証書とアフターサービス

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

おもな仕様

■ 共通部

- 使用電源：**
DC 14.4 V (10.8~15.1 V 使用可能)
- アース方式：**
マイナスアース方式
- 最大消費電流：**
10 A
- 外形寸法：**
(取付寸法)：
178 (W) × 50 (H) × 162 (D) mm
(ノーズ寸法)：
170(W) × 46 (H) × 13 (D) mm
- 質量：**
1.3 kg (コード含まず)

■ アンプ/オーディオ部

- 最大出力：**
45W × 4
- 定格出力：**
20W × 4
(50~15,000 Hz、5 % THD)
- 負荷インピーダンス：**
4 Ω (4~8 Ω 使用可能)
- バス/トレブル：**
(バス)
周波数：100 Hz
ゲイン：±12 dB
(トレブル)：
周波数：10 kHz
ゲイン：±12 dB

ラウドネスコンター：

- (LOW)：
7 dB (100 Hz)
4 dB (10 kHz)
- (HIGH)：
10 dB (100 Hz)
6.5 dB (10 kHz)
(ポリリューム：-30 dB)

■ CDプレーヤー部

- 形式：**
コンパクトディスクオーディオシステム
- 使用ディスク：**
コンパクトディスク
- 信号フォーマット：**
サンプリング周波数：
44.1 kHz
量子化ビット数：
16ビット直線
- 周波数特性：**
5~20,000 Hz (±1 dB)
- S/N比：**
94 dB (1 kHz)
(IHF-Aネットワーク)
- ダイナミックレンジ：**
92 dB (1 kHz)
- チャンネル数：**
2 (ステレオ)

■ FMチューナー部

受信周波数帯域：

76.1～89.9 MHz

実用感度：

8 dBf (0.7 μ V/75 Ω 、
モノラル、S/N：30 dB)

S/N 50 dB感度：

10 dBf (0.9 μ V/75 Ω 、モノラル)

S/N：

75 dB (IHF-A ネットワーク)

高調波歪率：

0.3 % (65 dBf入力、1 kHz、ステレオ)、
0.1 % (65 dBf入力、1 kHz、モノラル)

周波数特性：

30～15,000 Hz (\pm 3 dB)

ステレオセパレーション：

45 dB (65 dBf入力、1 kHz)

■ AMチューナー部

受信周波数帯域：

522～1,629 kHz (9 kHz)

実用感度：

18 μ V (S/N：20 dB)

S/N：

65 dB (IHF-A ネットワーク)

■ 付属品

コードユニット	：1
取付ネジ類	：1式
取扱説明書	：1
取付説明書	：1
安全上のご注意	：1
保証書	：1
ご相談窓口・修理窓口のご案内	：1

- ・ 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。
 なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな?と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

● ホームページ

「商品についてよくあるお問い合わせ」FAQのご案内 <http://faq.pioneer.co.jp/faqnavi/piofaq/top/navi.cgi>

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる ☎ フリーフォン、および「0120」で始まる ☎ フリーダイヤル は、PHS、携帯電話などからご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

商品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

● カーオーディオ／カーナビゲーション商品のご相談窓口およびカタログのご請求窓口

☎ **0070-800-8181-11**

☎ 【一般電話】 **03-5496-8016**

● カタログ請求とメールマガジン登録のご案内

<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>

● ファックス受付 ☎ **03-3490-5718**

部品のご購入についてのご相談窓口

- 部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターへお問い合わせください。

部品受注センター

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

☎ **0120-5-81095**

☎ 【一般電話】 **0538-43-1161**

☎ ファックス **0120-5-81096**

修理についてのご相談窓口

- お買い求めの販売店に修理の依頼ができない場合は、修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9:30～20:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☎ **0120-5-81028**

☎ 【一般電話】 **03-5496-2023**

☎ ファックス **0120-5-81029**

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

☎ 【一般電話】 **098-879-1910**

☎ ファックス **098-879-1352**